

lands East Indies. Meded. Bot. Mus. & Herb. Rijks. Univ. 91: 1-391.
 Benthams, G. and J.D. Hooker. 1865. Genera Plantarum 1: 725-772. (Malastomataceae)
 King, G. 1900. Materials for a flora of the Malaya Peninsula (Melastomataceae). J. As. Soc. Bengal 69: 1-87. Miquel, F.A.W. 1861. Flora Indiae Batavae. Supplementum I. Prodrum Flora Sumatranae. 319.
 Nayar, M.F. 1973. A note on the genus *Allomorpha* Bl. (Melastomataceae) and a new species from Malaya. Bull. Bot. Surv. India 15: 169-171. Ridley, R.N. 1911. A scientific expedition to Tennengoh, Upper Perak. J. Roy. As. Soc. Straits Br. 57: 32. Ridley, R.N. 1922. Flora of Malay Peninsula 1: 771-773. (Melastomataceae).

* * * *

Hylocharis Miquel (1861) は Benthams & Hooker (1865) が *Oxyspora* DC. に合併して以来それがつづいていたが今回再検討して、果実の形、割れ方、及びおしべの形態によってその独立性を認めた。その結果其後、*Oxyspora* に編入されていた東南アジア産の 4 種を *Hylocharis* にうつし新組合せを発表した。

□Hara, H., W. T. Stearn & L. H. J. Willams: **An enumeration of the flowering plants of Nepal** vol. 1, pp. 1-154. Trustees of British Museum (Natural History) London (1978). ネパールはヒマラヤ山系に沿って東西に 800 km に広がり、南は海拔 60 m そこそこの低地から、北は 6700~8800 m の雪山に及び、高山植物帯は 5640 m に達するという。そして大凡6500種の顕花植物が生えている。この報告は全 3 冊の予定の第一巻で、裸子植物と単子葉植物とのリストである、その出版には大英博物館と東京大学との協同作用が大きくきいているのは喜ばしい。

はじめに主な調査団の行動、地理的導入、園芸方面への貢献、主な採集者のメモ、足跡の地図等があり、概略を知ることができる。科の配列はベンサム・フッカーの方式を基準とし若干の手を加えたが、属及種の排列は ABC 順である。ヒマラヤを主にした文献を拾い、産地はスターン (1960) の提案による西、中央及び東ネパールに三分して最少限の標本を挙げ、海拔による分布の範囲を示し、また分布の概要を示している。その詳細を知るには事欠かない。ただ惜しいことは属と種々排列が分類系を反映していないこと、それと、科によっては属や種の検索表が一部しか載っていないことで、これは第二巻ではせび附けて欲しいものである。

日英共同の調査と出版という点、久しぶりに出版されたネパールの総目録という点でまことに歓迎されるものである。(前川文夫)